

3類型	鉦工業品	通巻番号	6 - 19 - 030
地域資源名	熊野筆	認定日	平成19年12月7日
地域	広島県安芸郡熊野町	所管省庁	経済産業省

事業名：熊野筆の穂先の技術と欧州の製毛技術を融合させた「和洋混合水彩絵筆」の開発事業

会社名：株式会社藤田画筆製作所

所在地：広島県安芸郡熊野町柿迫17

連絡先：TEL：082-854-7035

HP：

FAX：082-854-9468

事業概要(新たな活用の視点)

- ・欧州製絵筆の製毛技術と、「熊野筆(注)」の穂先作りの技術を活かした、今までにない、使い心地が良く、且つ、比較的安価に購入できる「和洋混合水彩絵筆」を開発・製造する。
- ・今までは価格が高いため、水彩画用のイタチ毛の絵筆は上級者にしか手の届かない商品であったが、お求め安い価格で、且つ、品質的にも優れた商品を開発し、消費者に近い流通での販売を目指すものとする。
- ・この開発商品は、画材分野だけに留まらず、小さなクラック(ひび割れ)補修が必要な楽器などの修理や、陶器やガラス細工の絵付けのデザイン等、職業道具としての用途もある。



【脚注】熊野筆

熊野筆は、江戸時代末期に誕生したといわれる。明治時代以降、庶民に教育が普及したことにもない、生産量が急速に拡大。国内生産の8割を占める日本最大の筆産地となった。1975年には「伝統工芸品」の指定を受けている。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・熊野の技術を使った繊細な穂先と、欧州の製毛技術によるコシを持ち、今までにない書き味を実現するとともに、自社製造によるコスト競争力があり、競合商品と比較して、機能面・価格面の両方で競争力を有している。

市場性

- ・絵筆としてのイタチ筆は高級品であり、現在は、上級者中心に利用されている。本事業の取り組みで、高品質な製品を手頃な価格で供給出来れば、中級者層にも消費が拡がり、絵筆市場の拡大につながると考えている。

販路

- ・現在も取引のある大手画材店などへの営業とともに、絵画教室や専門学校への紹介、ホームページによる販路拡大を行う。

地域資源における関係事業者との連携

- ・今後、事業の拡大により、商品の製造が大幅に増加した場合には、熊野内の他事業者へ、一部の作業を製造委託することも視野に、連携を行いたいと考えている。

【新開発商品】

